

令和2年2月21日
愛媛大学

令和元年度 事前復興フォーラム ～仮想南海トラフ地震，その避難から復興までの備えを育む～

歴史上およそ100年から150年の間隔で繰り返し発生する“南海トラフ地震”のリスクが年々高まる中、平成30年度より、宇和海沿岸の5市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学、東京大学が連携して「南海トラフ地震事前復興共同研究」に取り組んでいます（<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>）。南海トラフ地震のような大災害の可能性に対し、その日から強く立ち向かうために、今から考え備えておくこと、それが「事前復興」です。

本年度のフォーラムは、研究成果を報告する場として、事前復興として取り組むべき課題の中から、災害からの復興（まちづくり）に備えるためのプランを考えること、南海トラフ地震の避難から復興までを学ぶことを通して、主に“教育”の観点からその日に向けた事前復興を地域の皆様とともに考える機会といたします。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日時：令和2年3月7日（土）13:00～17:00（受付12:30～）
[第1部] 13:00～15:00 [第2部] 15:00～17:00
- 場所：宇和島市学習交流センター「パフィオうわじま」（宇和島市鶴島町8番3号）
- プログラム：別添チラシのとおり
- 主催：愛媛県、宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町
愛媛大学防災情報研究センター、東京大学復興デザイン研究体
- 対象：どなたでも参加できます。
- 定員：250人（当日も受け付けますが、満席のときは入場をお断りする場合があります）
- 参加費：無料
- 参加申込方法：
件名は、「事前復興フォーラム申込」として、
①氏名 ②連絡先（TEL、e-mail等）③居住地 ④職業を添えて、
2月28日（金）までに、事務局までメールまたはFAXでお申し込みください。
- 無料駐車場：有（70台 ホームページでご確認ください）

※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学防災情報研究センター 山本
TEL/FAX 089-927-9021
Mail: kensien@stu.ehime-u.ac.jp
HP: <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>

南海トラフ地震事前復興共同研究

令和元年度 事前復興フォーラム

～仮想南海トラフ地震，その避難から復興までの備えを育む～

大災害に強く立ち向かうために
今から考え備えておくこと，それが「事前復興」

主催： 愛媛県，宇和島市，八幡浜市，西予市，伊方町，愛南町
愛媛大学防災情報研究センター，東京大学復興デザイン研究体

日時： 令和2年3月7日（土） 受付 12:30～ 第1部 13:00～15:00 第2部 15:00～17:00

会場： 宇和島市学習交流センター「パフィオうわじま」（宇和島市鶴島町8番3号）

参加費： 無料，どなたでも参加できます（定員 250 名）

（2月28日までにお申込ください。※当日も受け付けますが，満席のときは入場をお断りする場合があります）

無料駐車場： 70 台（宇和島市役所・南予地方局の駐車場をご利用ください。※詳細は下記 HP に掲載）

13:00 開会挨拶

愛媛県防災安全統括部長 福井琴樹

【第1部】仮想南海地震と地域デザインを考える

13:10 仮想南海トラフ地震（そのときに何が起こるか）

～センサスから南海トラフ地震の避難と復興を科学する～

東京大学 羽藤英二

13:40 小さな事前復興プランの提案

東京大学 萩原拓也，東京大学院生

14:30 ポスターセッション（会場：ホール横のホワイエ）

東京大学・愛媛大学の院生，学生

【第2部】大災害の避難から復興までの備えを育む

15:00 行政の事前復興イメージトレーニング

愛媛大学 薬師寺隆彦，八幡浜市

15:20 地域で学ぶ防災・事前復興ワークショップ

愛媛大学 新宮圭一，西予市

15:40 小中高校で学ぶ防災・事前復興教育プログラム

愛媛大学 山本浩司，八幡浜市白浜小学校，宇和島東高校

16:30 地域と考える小学生クロスロード劇

愛媛大学 松村暢彦，宇和島市遊子小学校

16:50 閉会挨拶

愛媛大学 防災情報研究センター長 森脇 亮

■参加申込み・お問合せ

「事前復興フォーラム参加申込」と明記のうえ，氏名，連絡先（TEL）と居住地（宇和島市・八幡浜市・西予市・伊方町・愛南町・その他），職業（教員・会社員・公務員・自営業・農家・漁業・学生・主婦・その他）を添えて，下記へ Email または FAX でお申込みください。

送付先：Email kensien@stu.ehime-u.ac.jp / FAX 089-927-9021

ホームページ：<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>

事務局：愛媛大学 宇和海沿岸地域事前復興デザイン研究センター TEL 0894-35-6851 / 防災情報研究センター TEL 089-927-9021

開催趣意

平成 30 年 4 月より、宇和海沿岸の 5 市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学、東京大学が連携して「南海トラフ地震事前復興共同研究」に取り組んでいます。宇和海沿岸地域では、歴史上およそ 100 年から 150 年の間隔で繰り返し発生する“南海トラフ地震”のリスクが年々高まる中、それが強い揺れと大津波を引き起こした場合には多くの人命と生活が奪われ、まちが壊滅し、地域は大きな混乱の中に取り残されることが想定されます。それは東日本大震災の経験からも否定できないことです。そのため、多くの人命を守るとともに、「事前復興」として“大災害に強く立ち向かうために、今から考え、その日に備えておく”ための取り組みが求められています。そこには地域デザインや教育など広範に渡る課題があります。

本年度のフォーラムは、事前復興として取り組むべき課題の中から、災害からの復興（まちづくり）に備えるためのプランを考えること、南海トラフ地震の避難から復興までを学ぶことを通して、主に“教育”の観点からその日にかけた事前復興を地域の皆様とともに考える機会といたします。

南海トラフ地震事前復興共同研究

南海トラフ沿いでは、これまでおおむね 100 年～150 年の周期で大規模地震が繰り返し発生し、今後 30 年以内に南海トラフ地震が発生する確率は 70～80%であるとされています。「南海トラフ地震事前復興共同研究」は、東日本大震災以上の災害ともなりうる最大クラスの南海トラフ巨大地震による大規模災害の可能性に対処するために、巨大津波災害が想定されている愛媛県の宇和海沿岸 5 市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学、東京大学が共同で事前復興デザイン研究に取り組むものです。本研究は平成 30 年度から 3 年間の予定で活動を行います。

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>

参加申込書

令和元年度 事前復興フォーラム ～仮想南海トラフ地震、その避難から復興までの備えを育む～

Email : kensien@stu.ehime-u.ac.jp (※Eメールでの申し込みは、以下の内容を記載して送信してください)

FAX : 089-927-9021 (※FAXでの申し込みは、この申込用紙をお使いください)

お名前	連絡先（電話 or Eメール）	居住市町（○で囲む）	職業と区分（○で囲む）
		宇和島市・八幡浜市・西予市 伊方町・愛南町 その他〔 〕	教員〔小、中、高校、大学〕 会社員・公務員・自営業・農家 漁業・学生・主婦・その他

※お送りいただいた情報は、本フォーラムに関する取組み以外に使用することはありません。

※無料駐車場を使用される方は、ホームページ（<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/>）をご確認または事務局へお問合せください。